

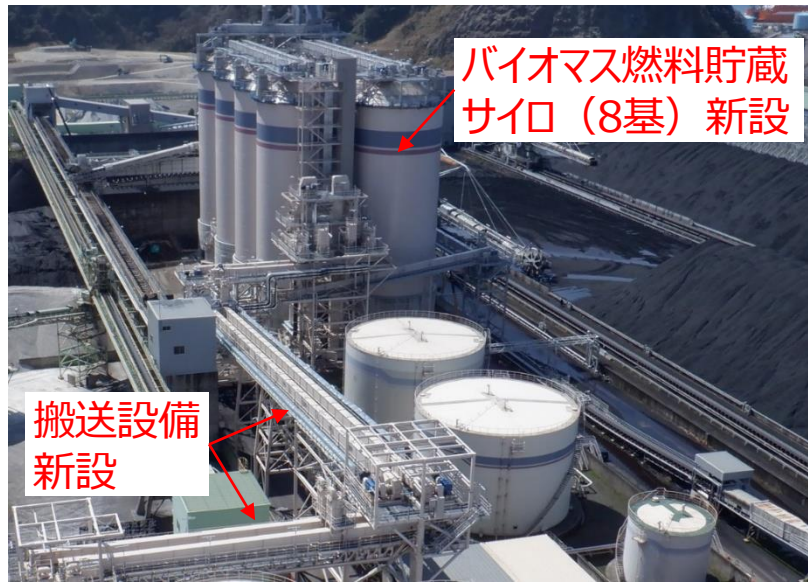
北陸電力の取組状況

2024年7月26日
北陸電力株式会社

火力発電のバイオマス混焼

- 2024年度からの混焼比率増加（15%）に向け、敦賀火力発電所 2号機および七尾大田火力発電所 2号機で、**発電設備改造工事や、貯蔵設備設置工事を実施**
- 敦賀火力発電所 2号機は2021年 2月から現地工事を開始し、2024年度中に運開予定

〔敦賀火力発電所 工事状況〕



- 2023年12月から試運転を開始し、2024年3月にバイオマス燃料の第1船を受入
- 2024年4月から混焼試験を開始

【設備仕様】

貯蔵サイロ	貯蔵量 : 42,800t (5,350t×8基) 寸法 : 内径17.5m×高さ49.3m
搬送設備	総延長 : 1,370m

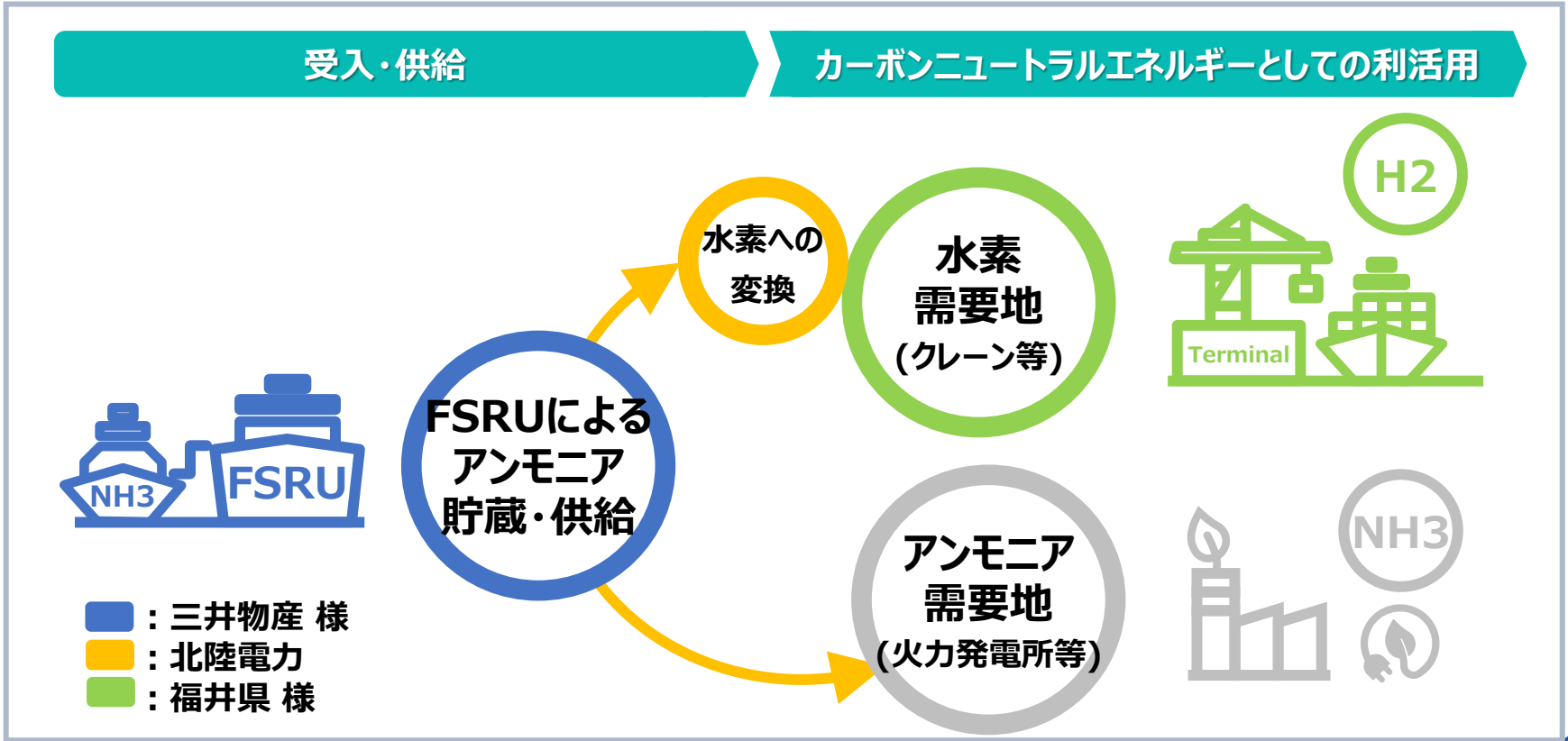
〔敦賀火力発電所 工事工程〕

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	サイロ基礎設計	サイロ杭・基礎工事	サイロ据付工事	試運転	▲ 運開 (2024年度中)
		コンベヤ他杭・基礎工事	コンベヤ他据付工事		
		関連設備改造工事 (ミル・バーナー等)			

水素・アンモニアサプライチェーンの構築

- 敦賀港に水素・アンモニアの導入に必要な大型貯蔵タンク向けの用地がなく、陸上に貯蔵施設を設置することが困難。
- このため、貯蔵設備などの機能を港湾内に係留する船に持たせた**水素・アンモニアの浮体式貯蔵再ガス化設備（FSRU）**の事業化調査を福井県様・三井物産(株)様と開始し、2023年度は**FSRU係留場所などの概念設計を実施**
- 2024年度は、FSRUデザイン・仕様の詳細検討など**設備の基本設計**を実施中

<水素・アンモニアサプライチェーンの概念図>



こたえていく。かなえていく。

